



ゆとりあん

社会福祉法人新潟しなの福祉会
地域生活支援センター「ゆとりあ」

〒950-0083

新潟市中央区蒲原町7-1 東地区総合庁舎2F

TEL 025(240)8000 FAX 025(240)8111

相談専用 TEL 025(248)7170

E-Mail : yutoria@sweet.ocn.ne.jp

★★★ ゆとりあの年末年始の休館のお知らせ ★★★

12月30日(水) ~ 1月4日(月)
お間違いのないようお願い致します。

★★★ ゆとりあ の 12月の予定 ★★★

座 談 会 12月3日(木) ゆとりあの談話室にて

ゆとりあ座談会のお知らせ

12月から第一木曜日に『座談会』を行います。

ゆとりあを利用してくださる方や登録者が増えてきており、大変嬉しく感じております。

開設当初より多くの方が利用されている中で、少々見直す点が生じております。そこで、様々な人にとって使いやすく、より多く利用してもらえ施設とするために、利用者の皆さんに集まって頂き、意見交換をしたいと思い『座談会』を設けることとなりました。

普段ゆとりあを利用している中で感じたやりたいこと、伝えたいこと、困っていることを、職員と利用者で話し合う機会にしたいと思っております。

酒蔵見学に行ってきました！

11月20日に、「今代司酒造」へ
総勢15名で見学をしてきました！



酒蔵へ入り、案内して下さる蔵人さんの話を聞き、お酒の試飲もさせて頂きました。

たくさん試飲できて楽しい！



酒造見学の後に、
「峰村醸造」の直売店と、
「古町糴製造所」の喫茶店にも行きました。

味噌漬けに出汁を試食し、喫茶店で糴を使ったドリンクも飲んで、参加者からは「楽しい見学だった」と満足の声が聴けました。



平成27年度「精神障がい者ホームヘルパー講習会」のご案内

障がいのある方が、住み慣れた地域で生活するとき、自分一人では困難なことでも、いろいろなサービスを利用することにより、その困難を解消し、自分らしい生活を送ることができます。ホームヘルパーの利用（居宅介護等）もその一つです。地域生活支援センターふらっとでは、障がい者の一番身近な応援者であるヘルパーさんに、改めて精神障がいについての理解を深めていただいたり、日頃の不安を軽減していただいたりするために、研修会を企画しています。興味のある方は、ふらっとにお問い合わせください。



日時 : 平成28年1月31日(日)

午前10:00～午後4:30

会場 : 新潟市総合福祉会館 5階

対象 : 居宅介護事業所、福祉サービス事業所、相談支援事業所、精神科病院、市町村の職員等

定員 : 50名

参加費 : 1000円

内容 : 新潟市の相談支援体制について ～計画相談と障がい者基幹相談支援センター～

新潟市障がい者基幹 相談支援センター西 相談員 竹田一光

精神疾患と障がいについて ～精神病の基礎知識と関わりの視点～

医療法人恵生会 南浜病院院長 精神科医 後藤雅博様

実際にヘルパーサービスを利用してみて ～当事者の方より～

当事者 佐々木福子様

「グループワーク」～日ごろ支援の中で感じている疑問質問を参加者の皆さんと共有しましょう～

家での過ごし方…?

今年は暖かくのんびりしていたら、先日の天気予報では雪マークが!!いよいよ冬シーズン到来ですね。

冬と言えば、みなさんどんなイメージでしょうか?寒さは身にしみますし、風邪等が流行しやすい季節でもあります。新潟だと多少雪も積るので「雪のけ」も大変な作業の一つですよ。と、なんとなくネガティブな言葉が並んでしまいましたが、家にいる時間が長い分、ゆっくりできる季節でもあるのではないかな、と思います。最近の私は、好きなお茶を飲みながら、昔読んだ本(と言っても主にマンガですが…)を読み返して、だらだら過ごすのがマイブームです。よく、ふらっとのメンバーさんから「家でどう過ごして良いかわからない」といったお話を聞くことがありますが、私も大したことはしていません(笑)自分のしたいように過ごすのが一番の気分転換ではないかな、と思っています。

みなさんはどんな過ごし方をしていますか?ぜひ教えてください(^^) いけだ

★主の「ラム タイムスリッパ」★

11月後半の今日は、とうとう最高気温も1ケタ台で、12月中旬の寒さだそう。寒さが嫌いな小生の苦手な時期に突入である。(北海道は積雪も40cmオーバーで、60年ぶりとか)

先日、学生時代の仲間から誘いを受けて39年ぶりに同級生との同窓会に出席した。半世紀以上前の仲間達ですから、会った時に思い出せるものか心配で心臓もバクハツしそうだった。しかし、懐かしい仲間に出会うや否や、雲の上を歩いているような、タイムスリップした感覚におそわれていた。

あの頃はロン毛だった男達は、のきなみ白髪交じりか額は大きく後退していた。女性陣はみな淑女になっておられた。顔の深い皺は夫々の苦勞を物語っていたが、誰もそんな事をおくびも出さず、懸命に昔の面影を探し、青春の淡き夢を追いかけていた。当時のエピソードを語り、とんどん当時に引き戻されました。ほんとうに夢のようなひと時でした…。

さらば青春に乾杯

